

平成27年8月31日ver

おん たけ さん

御嶽山噴火への対応

<平成26年9月27日11時52分頃発生>

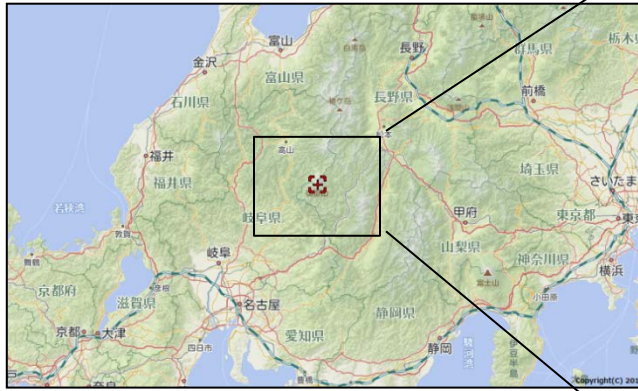


<平成26年9月27日16時頃撮影>

国土交通省 中部地方整備局

1. 概要

(1) 位置図



(2) 降灰状況

中部地方整備局
ヘリ調査概要
平成26年9月28日
6:00-8:30



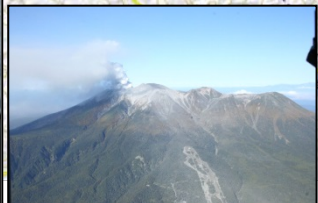
降灰が見られた範囲
— : 降灰が明らかに確認された範囲
- - : 降灰の形跡があった範囲(不明瞭)

28日午後: 降灰状況調査範囲



・火口は山頂南側～西側にかけて、3か所確認された。
・噴煙は白く、火山灰を多く噴出して見ようには見えなかった。東よりの火口からは時折有色噴煙が確認された。

ライブカメラ (滝越)



山頂から御岳ロープウェイスキー場に向け降灰が見られる

2. 対応状況

平成26年9月27日 11:52頃 御嶽山が噴火

○平成26年9月27日

- 12:36 噴火警報(火口周辺警報)発表
噴火警戒レベル3(入山規制;火口から4km以内)
- 12:36 中部地方整備局 警戒体制
- 14:40 第1回 太田国土交通大臣と八鍬局長とのTV会議
- 14:45 中部地方整備局 非常体制
- 15:43 第2回 太田国土交通大臣と八鍬局長とのTV会議



非常災害現地対策本部会議

○平成26年9月28日

- ・土砂災害防止法に基づく緊急調査に着手・通知
- ・政府調査団(団長:西村内閣府副大臣) 派遣→海野副局長等が対応

22:00 御嶽山噴火非常災害現地対策本部 設置(長野県庁)
→中部地整から本部員1名派遣

○平成26年9月30日

- ・北川国土交通副大臣被災地調査→八鍬局長等が対応

○平成26年10月11日

- ・政府調査団(団長:山谷防災担当大臣)派遣
→八鍬局長等が対応



北川副大臣へ説明

○平成26年10月17日

- 13:30 御嶽山噴火非常災害現地対策本部 解散
- 19:00 中部地方整備局 非常体制から警戒体制に移行

○平成26年10月30日

- ・鹿ノ瀬川のコンクリートブロック積み砂防堰堤が完成
- 18:00 中部地方整備局 警戒体制から注意体制に移行



山谷大臣との意見交換

○平成27年6月26日

- 17:00 噴火警報(火口周辺警報)発表
噴火警戒レベル2(入山規制;火口から1km以内)に引き下げ

○平成27年6月29日

- ・土砂災害防止法に基づく緊急調査の終了(通知)

18:00 中部地方整備局 注意体制を解除

～ 被害の状況(平成27年8月6日現在) ～

- ・死者58名 (平成27年8月6日 19:00現在 内閣府HP)
- ・行方不明者5名 (平成27年8月6日 19:00現在 内閣府HP)
- ・負傷者69名(長野県59名、岐阜県10名) (消防庁 平成27年10月23日 15:00現在)

御嶽山の噴火後、直ちに関係県・市町村にリエゾンを派遣。あわせて、救助活動等の支援、降灰調査、道路降灰除去作業等のため、TEC-FORCE、災害対策車両等を派遣。

(1)リエゾンの派遣 (9/27~10/17)延べ135人日

○長野県庁	(9/27 ~ 10/17)	延べ	41人日
○王滝村(長野県)	(9/27 ~ 10/15)	延べ	38人日
○木曾町(長野県)	(9/27 ~ 10/15)	延べ	37人日
○長野県 木曾地方事務所	(9/27 ~ 9/30)	延べ	4人日
○岐阜県庁	(9/27 ~ 9/30)	延べ	7人日
○高山市(岐阜県)	(9/27 ~ 9/28)	延べ	4人日
○下呂市(岐阜県)	(9/27 ~ 9/28)	延べ	4人日



王滝村災害対策本部会議に出席



王滝村長から情報収集

(2)TEC—FORCE、災害対策車両等の派遣

(9/27~10/30)延べ204人日

- 防災ヘリコプターによる被災状況調査
- 被災状況調査(降灰調査)
 - ・地上及びUAV(無人航空機)による降灰状況調査
- Ku-SAT II(衛星小型画像伝送装置)、衛星通信車による現地映像の配信
- 御嶽山の登山口に照明車を派遣し、夜間の下山者、救助活動への支援
- 人命救助及び行方不明者の捜索・救助活動への支援
 - ・散水車による救助ヘリコプター離発着地での防塵
- 路面清掃車、散水車による道路降灰除去



防災ヘリコプターによる被災状況調査
(撮影映像は9/27)



UAV(無人航空機)による
降灰状況調査(9/29)

※近傍でヘリコプター等が活動している場合は、その運行に支障をきたすことがあるため、UAVの調査にあたっては、予め関係機関との調整が必要となります。



王滝村役場にKu-SAT II を設置し、リアルタイムで現地映像を配信(9/28より設置)



←^{にぎりご}濁河温泉登山口(岐阜県下呂市)における支援(9/27~9/28)
消防・警察による救助活動への支援

田ノ原駐車場(長野県王滝村)における支援(9/27~9/28)



下山者の目印となるように「おんたけ2240スキー場」ゲレンデに向かって点灯(煙っているのは噴煙)



← 救助ヘリコプター離発着地での防塵のための散水作業(10/1~10/17)

(3)道路降灰除去

【道路降灰除去作業】

長野県木曾町からの要請を受け、木曾町道鹿ノ瀬線及び開田高原保健休養地内の町道の降灰除去作業を実施。

1. 木曾町道鹿ノ瀬線

9月27日(土)23:40作業開始 9月28日(日)4:20降灰除去完了

2. 開田高原保健休養地内の町道

9月28日(日)7:30作業開始 16:30降灰除去作業完了

【TEC-FORCEの派遣】

応急対策班(道路降灰除去)

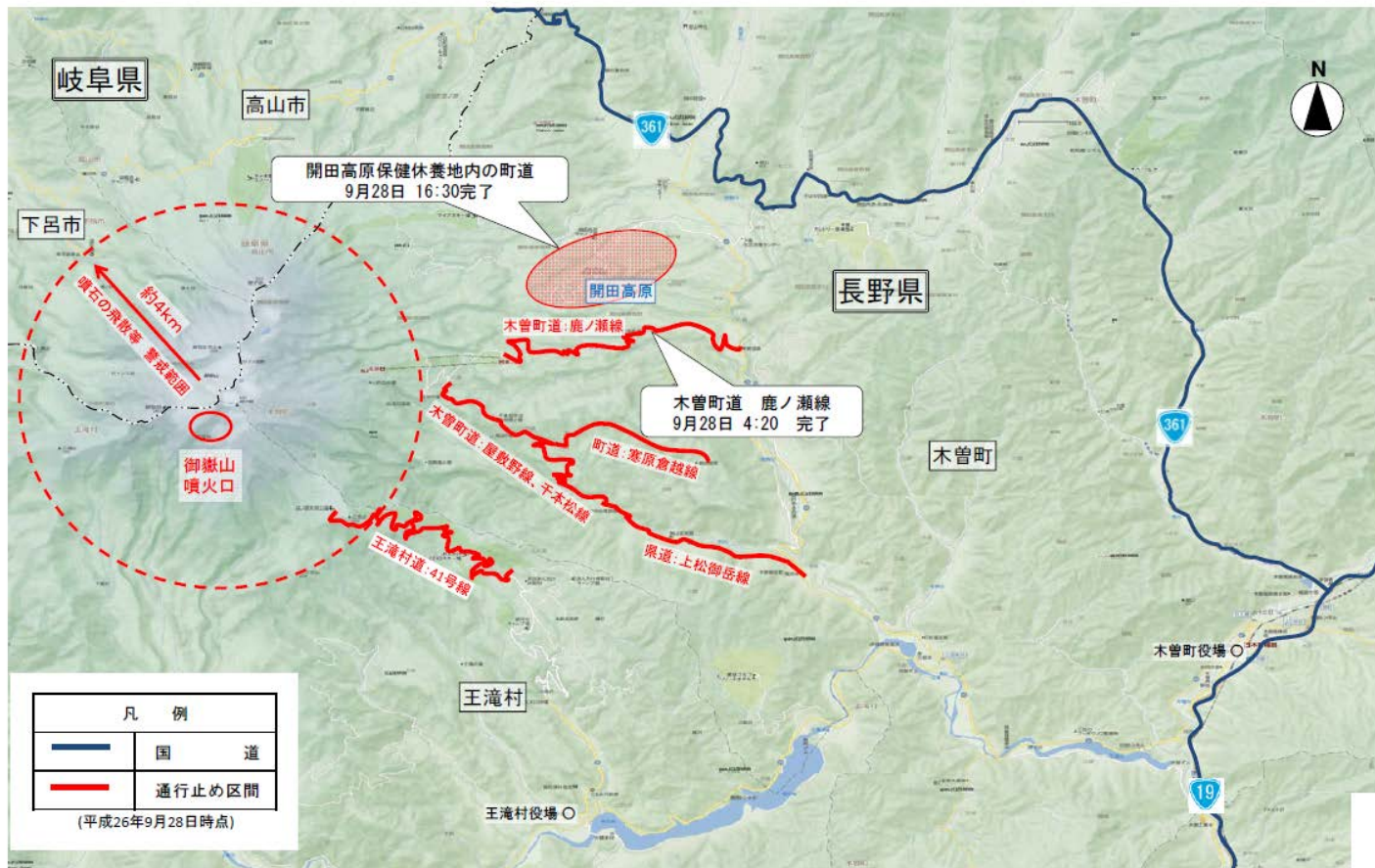
9月27～30日 延べ15人日

(飯田国道9人日、岐阜国道3人日、静岡国道2人日、三重河川国道1人日)

10月1日～15日 1班1名体制 延べ15人日

(飯田国道1名)

御嶽山噴火による降灰除去作業



1. 木曾町道鹿ノ瀬線

TEC-FORCE

**Technical Emergency
Control FORCE**



御岳山噴火応急対策班
2014.9.28 AM2:30

2. 開田高原保健休養地内の町道

TEC-FORCE

**Technical Emergency
Control FORCE**



御岳山噴火応急対策班
2014.9.28 AM10:00

(4) 土砂災害防止法に基づく緊急調査

9月28日;土砂災害専門家(国土技術政策総合研究所、土木研究所)、中部地方整備局職員が防災ヘリコプターにより降灰状況等を調査

【9月27日調査】 防災ヘリコプターによる降灰状況調査



開田高原保養所



御嶽山ロープウェイ

【9月28日調査】 防災ヘリコプターによる降灰状況調査



斜面東側 開田高原



斜面北東側 開田高原

～ 調査結果の主な所見 ～

- ・噴火口は3箇所確認、中央の火口が最大
- ・降灰は風下である東側の開田高原方面(長野県)を中心に確認
- ・開田高原方面は注意が必要であるため、地上調査を実施
- ・南方向では、噴煙の流下が確認された濁沢方面は、谷底に火山灰は確認できたが、厚く堆積している状況にはない
- ・西側の岐阜県側も顕著な降灰は確認できなかった

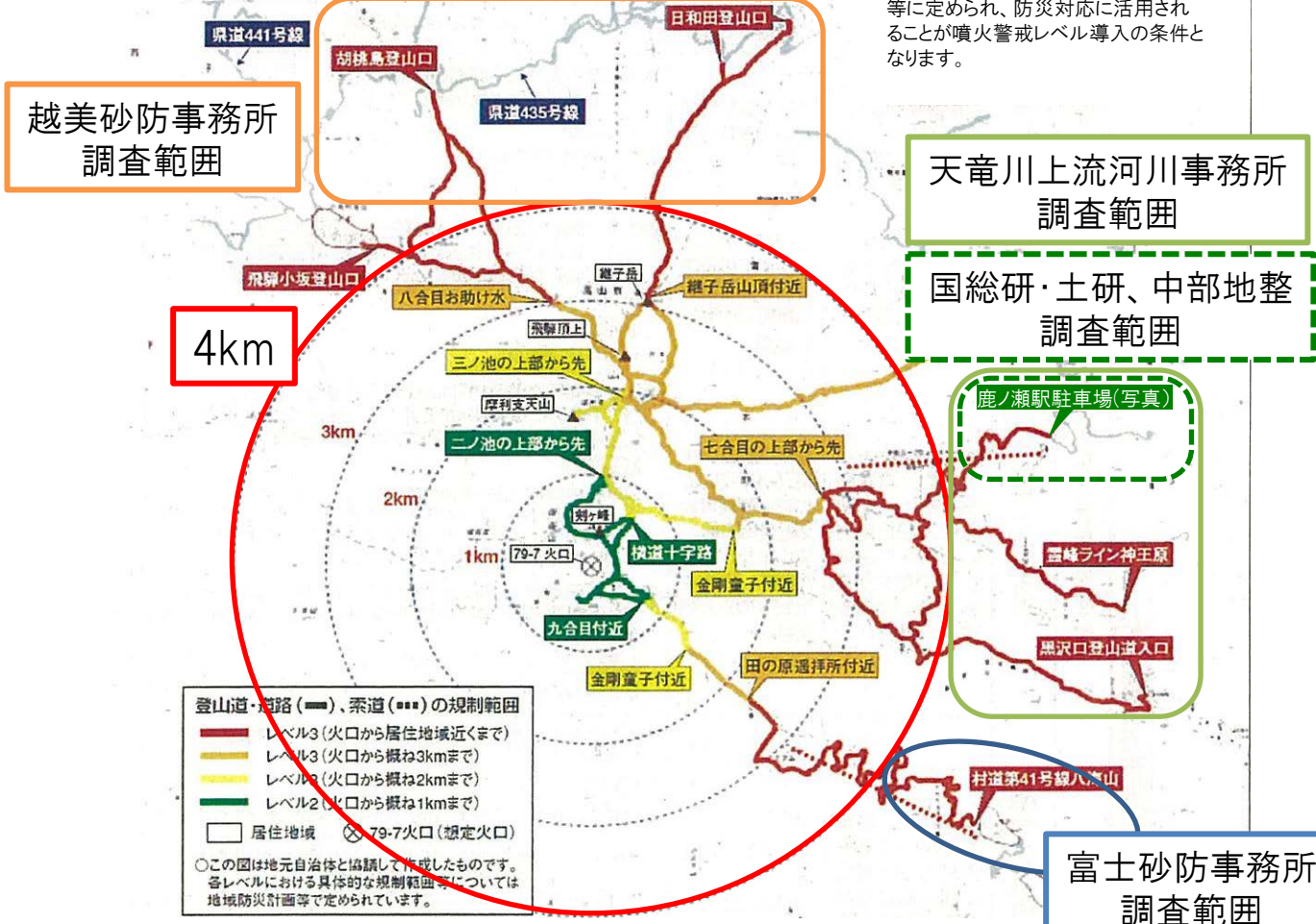


調査結果の報告
(9/28記者会見)

<地上からの降灰状況調査>

- この図は79-7火口*で噴火した場合の噴火警戒レベル2(火口周辺規制)及び3(入山規制)の規制範囲を示しています。
 - レベル3は、火山活動の状況により規制範囲が変わります。
 - 居住地域まで影響が及ぶ場合にはレベル4(避難準備)及び5(避難)となります。(レベル1(平常)の時は八丁たるみ内立ち入り規制)
- ※1979年の噴火で発生した火口のうち、現在も噴気活動が継続している火口です。

- 噴火時等にとるべき防災対応を踏まえて5段階に区分されています。
- それぞれのレベルに防災機関等の行動がキーワード(「避難」、「避難準備」、「入山規制」等)として示されています。
- 市町村、都道県等の地域防災計画等に定められ、防災対応に活用されることが噴火警戒レベル導入の条件となります。



<地上からの降灰状況調査範囲>

■国総研・土研、中部地整調査範囲
鹿ノ瀬駅付近で、降灰している状況を確認。



平成26年9月28日16時頃 鹿ノ瀬駅(写真)

(5) 土石流に関するシミュレーション計算結果の公表

御嶽山噴火により、山頂付近に火山灰が厚く堆積した湯川、白川、濁沢川において、降灰の影響を考慮した土石流に関するシミュレーションを中部地方整備局管内の砂防事務所で実施し結果を公表。

	対応期間	延べ対応人数
富士砂防事務所	9/28-10/2	11人
越美山系砂防事務所	9/28-10/2	10人
天竜川上流河川事務所	9/29-10/2	6人
沼津河川国道事務所	9/30-10/2	6人
計		33人

シミュレーション計算 実施状況



富士砂防事務所



越美山系砂防事務所

指示 ↑ ↓ 成果報告

中部地方整備局(統括)

国土技術政策総合研究所
(独) 土木技術研究所

支援・助言



<降灰範囲と各流域の位置関係>



<土石流シミュレーション結果>

※シミュレーション結果の詳細は、中部地方整備局ホームページをご覧ください。
<http://www.cbr.mlit.go.jp/saigai/NEWS/MAIN/index.htm>

(6) 二次災害防止対策の実施

かのせがわ

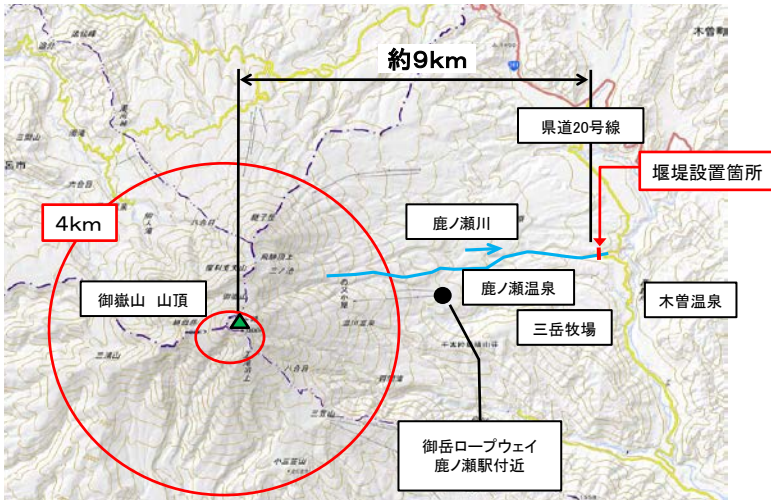
→ 砂防堰堤が設置されていない鹿ノ瀬川へ緊急的な砂防堰堤の新設(10月2日着手、10月30日完了)



コンクリートブロック積み砂防堰堤



コンクリートブロック積み砂防堰堤完成の
現地説明会



堰堤設置箇所 位置図



H26.10.25



H26.10.25

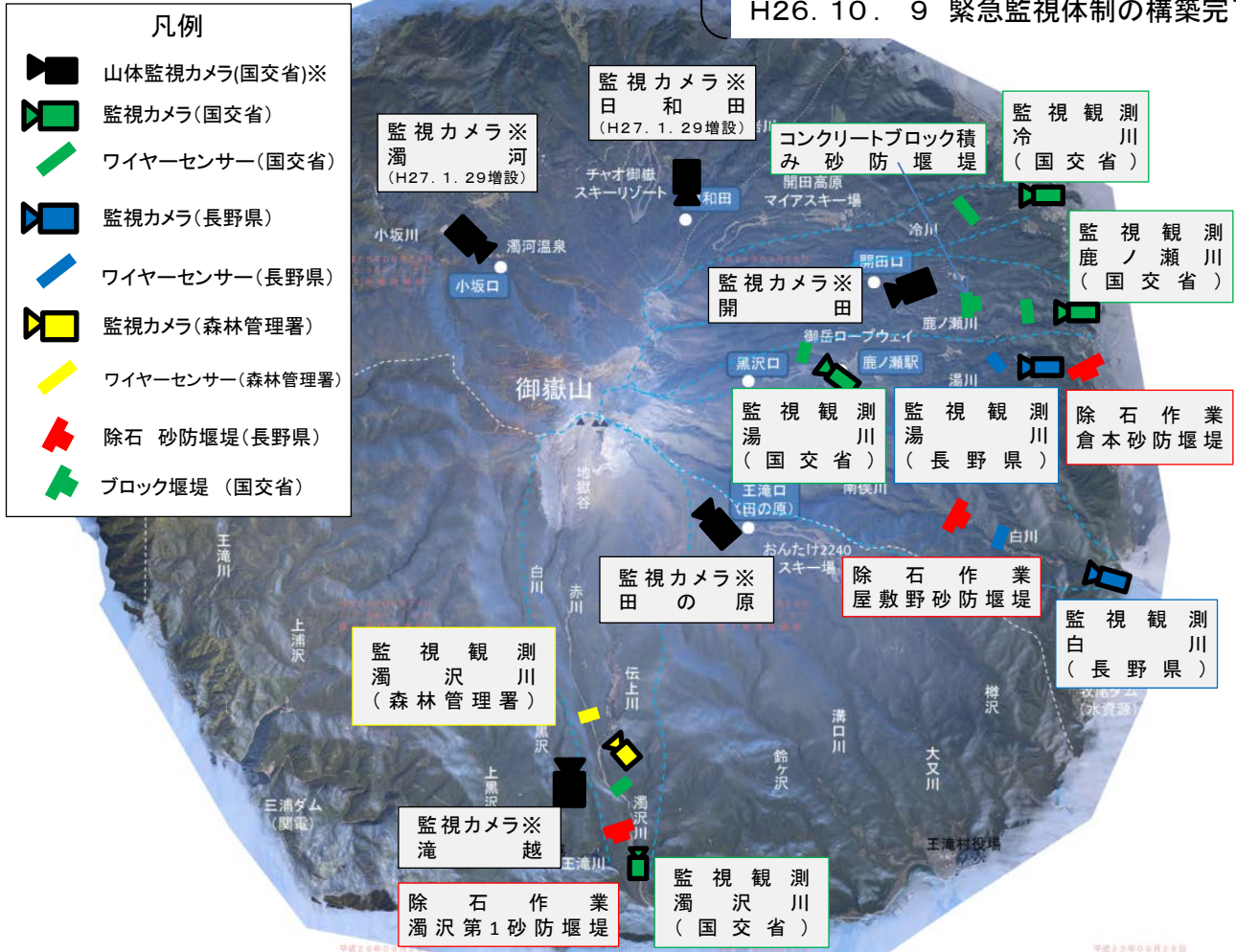
作業の安全性を考慮して、
遠隔操作無人化施工のバックホウを採用

(7)火山活動の監視体制の強化、情報提供

○監視カメラ、ワイヤーセンサーの設置(災害発生直後)

緊急的な監視体制の構築

H26. 9. 27 御嶽山噴火
 H26. 10. 3 各溪流に少なくとも1箇所の監視カメラの設置完了
 H26. 10. 9 緊急監視体制の構築完了



画像:平成26年09月28日(10:36~11:27)国土地理院撮影

※ 山体監視カメラについては、緊急調査終了以降も継続監視



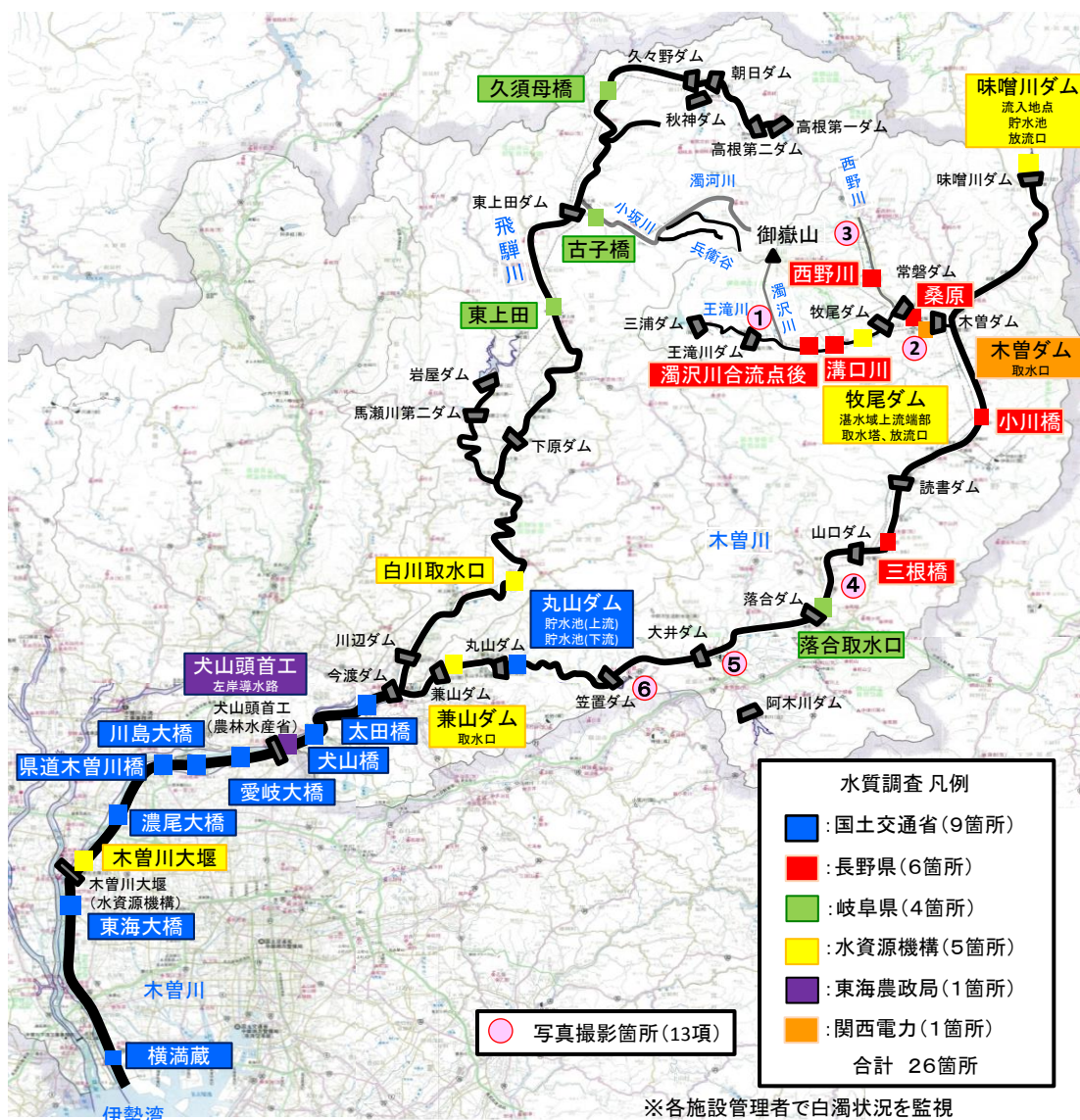
冷川監視カメラ(国交省)映像

王滝村役場への映像提供状況

柳ヶ瀬3号堰堤(長野県)へのワイヤーセンサー(国交省)設置状況

(8)関係機関連携による水質調査(H26.9.28～継続)

- 御嶽山の噴火直後に木曾川と飛騨川で噴火物による白濁水の流下を確認
- 牧尾ダム湖内で水素イオン濃度(pH)の低下が見られるが、水系全体として水質に大きな異常は見られない
- 木曾川、飛騨川には水道用の取水口があるが、大きな問題はなく、通常の供給がおこなわれている
- 引き続き、関係機関で連携して水質監視を実施し、情報共有及び公表を行う



※各施設管理者で白濁状況を監視
 ※木曾ダム(関西電力)はH27.5.28より水質調査を実施

<台風18号後 へリによる白濁水の流下状況調査(H26.10.7)>

1

王滝川・濁沢川合流地点



2

牧尾ダム上流



3

西野川



4

落合ダム



5

大井ダム



6

笠置ダム



噴火の様子(中部地方整備局の監視カメラより)

＜平成26年9月27日11時53分15秒～ 55分00秒＞

2014年09月27日 11時53分15秒



滝越

9月27日11時53分15秒

2014年09月27日 11時54分00秒



滝越

9月27日11時54分00秒

2014年09月27日 11時54分30秒



滝越

9月27日11時54分30秒

2014年09月27日 11時55分00秒



滝越

9月27日11時55分00秒



国土交通省 中部地方整備局
〒460-8514 名古屋市中区三の丸2-5-1
名古屋合同庁舎2号館 TEL:052-953-8158

平成27年8月31日 ver